### 第1号議案

県立学校の管理に関する規則の一部改正について

県立学校の管理に関する規則(昭和32年宮城県教育委員会規則 第9号)の一部を改正する。

令和7年3月25日提出

宮城県教育委員会教育長 佐 藤 靖 彦

### 1 改正の理由

県立学校職員に係る特別休暇の承認者について、その承認手続きの業務負担を軽減するため、専決者の改正を行うもの。

### 2 改正内容 特別休暇の承認

	< 現	1行>	<改〕	E後>
	校長	校長以外	校長	校長以外
国際大会	教育委員会	教育委員会	教育委員会	<u>校長</u>
国民スポー ツ大会等	校長	校長	校長	校長
その他の 国内大会 (7日未満)	教育委員会	校長	教育委員会	校長
(7日以上)		教育委員会		
海外視察	教育委員会	教育委員会	教育委員会	校長

(網掛け部分の承認者は、事務決裁規程により定めている。)

3 施行日 令和7年4月1日

## 県立学校の管理に関する規則の一部を改正する規則

県立学校の管理に関する規則(昭和三十二年宮城県教育委員会規則第九号)の一部を次のように改正する。

会、東北総合体育大会又は宮城県民体育大会に選手又は役員として参加する場合及び全国高等学校総合体育大会又は全国中学校総合体 育大会に役員として参加する場合は、期間にかかわらず校長が承認するものとする。)」を「及び第三十二号に規定する休暇(校長が当 競技会に選手又は役員として参加する場合は、期間にかかわらず教育委員会の承認を受けなければならないこととし、 第二十八条第七項第一号中「に規定する休暇 (校長以外の職員にあつては、引き続く七日以上のものに限る。ただし、国際的な運動 国民スポーツ大

## 附則

該休暇を取得する場合に限る。)」に改め、

同項第二号中「第三十二号及び」を削る。

この規則は、令和七年四月一日から施行する。

宮城県条例第四十七号)の定めるところによる。宮城県条例第四十七号)の定めるところによる。明和四十六年学校等の教育職員の給与等の特別措置に関する条例(昭和四十六年学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成七年宮城県条側第八号)及び第二十八条 職員の勤務時間、休日及び休暇については、学校職員の(勤務時間、休暇等) 7 第二十九条から第三十七条まで 8 2から6まで する場合は、校長を経由して教育委員会の承認を受けなければならについては、校長が承認する。ただし、次の各号のいずれかに該当三号までに規定する休暇及び同項第十五号に規定する休暇を除く。)- 職員の特別休暇(勤務時間規則第二十条第一項第十一号から第十 る休暇( 職員の特別休暇? ら6まで (略) 条から第二十七条まで する休暇勤務時間規則第二十条第一 (略) 勤務時間規則第二十条第一項第三十一号及び第三 (校長が当該休暇を取得する場合に限る。 改 項 正 (略) 後 第三十三号に規定 + |号に規定す 8 2から6まで 第二十九条から第三十七条まで 7 第 する場合は、校長を経由して教育委員会の承認を受けなければならについては、校長が承認する。ただし、次の各号のいずれかに該当三号までに規定する休暇及び同項第十五号に規定する休暇を除く。)職員の特別休暇(勤務時間規則第二十条第一項第十一号から第十小から6まで」(略) 条から第二十七条まで し、国際的な運動競技会に選手又は役員として参加する場合は、以外の職員にあつては、引き続く七日以上のものに限る。ただ「勤務時間規則第二十条第一項第三十一号に規定する休暇(校園) する休暇 勤務時間規則第二十条第一項第三十二号及び第三十三号に規定 期間にかかわらず校長が承認するものとする。 大会又は全国中学校総合体育大会に役員として参加する場合は、 会に選手又は役員として参加する場合及び全国高等学校総合体育 期間にかかわらず教育委員会の承認を受けなければならないこと とし、国民スポーツ大会、 東北総合体育大会又は宮城県民体育大 改 正 略 前 (校長

この規則は、

令和七年四月一日から施行する。

附

則

### 第2号議案

校長及び教員の採用手続に関する規則の一部改正について

校長及び教員の採用手続に関する規則(昭和31年宮城県教育委員会規則第9号)の一部を改正する。

令和7年3月25日提出

宮城県教育委員会教育長 佐 藤 靖 彦

### 1 改正の理由

校長及び教員の採用に係る手続を円滑に行うため、採用手続に係る る提出書類の見直しを行う。

### 2 改正内容

- (1) 校長等の選考出願者に関する人物証明書の内容について、「みやぎの教員に求められる資質能力」のうちの「管理職等の職能に応じて求められる資質能力」との整合性を図る。
- (2) 各様式における本人の押印を廃止するなど、様式の見直しを行う。
- 3 施行日 令和7年4月1日

校長及び教員の採用手続に関する規則の一部を改正する規則

第一条中「及び教員」を「並びに副校長、 校長及び教員の採用手続に関する規則(昭和三十一年宮城県教育委員会規則第九号)の一部を次のように改正する。 教頭、 主幹教諭、 教諭、 養護教諭及び栄養教諭(以下「教員」とい

う。)」に改める。

第二条第一号ハ中「教諭の」を削り、同条第二号中「場合(」の下に「第一号及び」を加える。

第三条第二項に次のただし書を加える。

ただし、校長及び副校長に係る名簿は、 その職種による区分をせずに作成するものとする。

### 様式第1号

					職員番号	r I I			
		7	宮城県公立	学校校長	・副校長	・教頭・主草	幹教諭採戶	用願書	
	出願	区	分	*	受	験		番	号
ふ氏	り が	な 名				男・汀	女		真
生	年月	日		年	月	日生(	才)	脱帽で	、正面、 ・3か月 :撮影し
本	籍	地						たもの	
現	住	所						(4.5cm)	×3.5cm)
居	住	地							
学		歴		大	:学	学音	3	年	月卒業
子		産		大	学院			年	月修了
				免許状の	種類・教	科又は領域		取得	年・月
								年	三 月
免	許	状						年	三月
	н	7/						年	三 月
								年	三 月
								年	三月
研	究 内	容							
特		技							
勤	務	先							
( .	職名まて	." <i>)</i>							

- (注) 1 ※印の欄は記入しないこと。
  - 2 出願区分の欄には、校長、副校長、教頭又は主幹教諭のいずれかを記入すること。

### 様式第2号

種現 所 属

ふりがな職・氏 名

年	月	日	履	歴	事	項	発	令	庁
			^^^						

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名

- 注 1 学歴については、最終のもののみとし、その学校の修業年限をかっこ書きすること。
  - 2 資格(免許)については、所持する免許状の種類、番号等を記載すること。
  - 3 職歴については、就職、転任、休職、免職(休職、退職、免職については その理由)賞罰を記載し、給与は現号俸とその発令年月日のみとすること。

### 様式第3号

人 物 証 明 書

現 所 属

ふりがな

職・氏名

### 1 所属長記入事項

観察事項	観	察	内	容	
学校のリーダーと しての基本的な素養					
学校経営能力					
組織管理運営能力					
外部連携能力					
人材育成能力					
校長・副校長・教頭 ・主幹教諭としての 適 格 性					

2	市町村業	か苔禿	음소:	数台-	長記入	車項
	111111111111111111111111111111111111111	X D 75		4× 🗀	12 HI / / \	T-12

所見
----

上記のとおり証明する。

年 月 日

所属長氏名 印

市町村教育委員会 教 育 長 氏 名

### 様式第4号

### へき地・特別支援教育勤務等調書

現 所 属

ふりがな

職・氏 名

区	分	期	間	摘	要

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

### 氏 名

- 注意 1 区分欄には、へき地教育、特別支援教育、舎監、派遣社会教育主事、他管 区勤務及び表彰、特殊技能等を記載すること。
  - 2 期間欄には、始期、終期を明記すること。ただし、表彰等については年月 日を記載すること。
  - 3 摘要欄には、勤務先や表彰、特殊技能の内容など特記すべき事項について 簡潔に記載すること。

### 様式第5号

							年	三度	F	怪	「城	県	公	立:	学村	交孝	效員	採	用』	額	<u> </u>			
出	願	者 区	. 分	受	験	校	種		職	受 懸	き 教	: 科	(	科	目	)		選	考	種	別	※ 受 縣	金 番	号
フ	IJ	ガ	ナ														性			別	上十分	/、正面、脱	真 帽で 3	3 か
氏			名																		月以内	に撮影した	もの	
	生.	年	月	- 1	ı		年	齢					日	本国	[籍(	の有	*無							
現	,	住	所																					
電	話	番	号																					
	喜	等点	乡校																		卒	業 年 ・	月	
学	IHI	₩ =	F 1X																			年		月
	大	学	等				大学	É	•		学	部		•		学和	4名等	至			卒業	(卒業見込)	年	月
歴				(1)																		年		月
				(2)																		年		月
						免	許划	やの	種类	頁・割	效科	又に	は領	域					取	.得	(取得見	込)年・月		
																				年	月			
																				年	月			
免	1	許	状																	年	月			
																				年	月			
																				年	月			
																				年	月			
卒美	<b><b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> <b></b> </b>	科 文の	題目																					
部(	• 2	しっこ	ブ名														大学	等						
そ 社	の 会 i	他 活 重	の等	高領	等学	4校											大学	等						
取	得!	資格	子 等																					
東東有無		場受	験和	<b></b> 全	<b>の</b>								7		第		. 肴	Š.	望	Þ	区 分			
		本 育	種	目選	星 択										第	=	. 肴	Š.	望	Þ	5 分			
配	慮	申言	青の	)有	無									L										

### 様式第6号

				履		歴		書			
フリ	リガナ							生生	F 月	日	
氏	名							年		月	日
	年	月	日		履	歴	事	項			発令庁等
N/c	,		から まで								
学		•	から								
		•	まで								
		•	から まで								
歴		•	から								
			まで から								
	,	•	まで								
	٠		から まで								
	•		から								
础		•	まで								
職		•	から まで								
	•	•	から								
		•	まで から								
	•	•	まで								
	•		から まで								
		•	から								
	•	•	まで								
ner:	•	•	から まで								
歴			から								
			まで から								
			まで								
		•	から								
	•	•	まで								
賞	•	•									
罰		•									
	上記の	とおり札	1違ありま	せん。							
		年	月	日							
							氏 名				

(注) 「履歴書記入上の注意」に従って記入すること。

### 様式第8号

### 再任用採用願書

提	出年	月日	1			左	F	月		F	3	į	⊵職	(予)	定	)年月	日				年		月		Ħ
所	属 •	職名																							
氏職	員	番 另									T				_ ,	性別			生年月 (年齢			年	月 (	日歳	生
現	住	戸	ŕ (	Ŧ		)			I								l	í	電話番	子号					
退罪	哉後(	の住房	ŕ (	₹		)												ŕ	電話番	爭号					
再任	:用希望	星の校和	i			町村 立学		小中*	学校	(	義務	务教	女育	学校	えを	含む	,°)								
					免討	ド状の	)種	類•	教科	斗又	には	領地	或							手年					
																			年.		月				
免	許	状																	年 年		月 月 月				
70	н	.,,																	<u>'</u> 年		<u>/-</u> 月				
																			年		月				
																			年		月				
所:	有 資	格等	Ě																						
##	₹⁄x	年 娄		学村	交			年		月	中	学村	交			年		月	義務	教育	<b>育学</b>	校	年	Ē	月
勤	務	年		等	学校			年		月	中	等	教育	「学村	恔	左	F	月	特別	支担	受学	校	年	Ē	月
希宣	望勤	务形創	מחל		短□□短い□□	週2 ど 時間 。	勤時 3時 3時 5	务間で務 間12を 間15を	希分よる 分よ	!す粉ハ 智 動ハ	る希よる希	(希望 (望	望	がカ望が	ゝな □	たわな ] 週1 いなわ ] 週1	5時 ない	間30	こは常 )分勤 合にi )分勤	務希は再	望 任/				な
	市田	 「村 立			大	河原	教育	<b>育事</b>	務所	管	内			仙	占台	計教育									
希望勤		学校				部教 仙沼								東	自剖	<b>『教育</b>	事	务所?	管内						
望勤務地	県立	之学校				部北 部南							『南 『地	地区 区	<u> </u>			比部: 有部:	化地区 也区	ζ					
その	)他特	記事項	Į																						

### 【記入上の注意事項】

- (1) 「年齢」欄は、再任用職員として勤務を希望する年度の4月1日現在における年齢を記入すること。
- (2) 「退職後の住所」欄は、退職後の住所が現住所と異なる場合のみ記入するこ
- (2) 「退職後の任所」欄は、退職後の任所が現住所と無なる場合のか配入すること。 (3) 「再任用希望の校種」欄は、「市町村立小中学校(義務教育学校を含む。)」又は「県立学校」のいずれかを選択すること。 (4) 「希望勤務地」欄は、市町村立小中学校(義務教育学校を含む。)希望者は「市町村立小中学校」欄の、県立学校希望者は「県立学校」欄の勤務地の中からそれぞれ選択すること(複数選択することが望ましい。)。 (5) 「その他特記事項」欄は、特に配慮を希望する事項等を記入すること。

# 校長及び教員の採用手続に関する規則の一部を改正する規則(新旧対照表)

	第三条 略	第三条 略
	三略	三略
	イから二まで 略	イから二まで 略
るもの	除く。)	除く。)
対象範囲を是正す	二 教員の採用を出願する場合( 第三号の場合を	二 教員の採用を出願する場合(第一号及び第三号の場合を
	ニからへまで 略	ニからへまで 略
るもの	る教諭の普通免許状の写し	る 普通免許状の写し
対象範囲を是正す	ハ 教育職員免許法(昭和二十四年法律第百四十七号)によ	ハ 教育職員免許法(昭和二十四年法律第百四十七号)によ
	イ及びロ 略	イ及びロ 略
	場合(第三号の場合を除く。)	場合(第三号の場合を除く。)
	一 校長並びに副校長、教頭及び主幹教諭の採用を出願する	一 校長並びに副校長、教頭及び主幹教諭の採用を出願する
	定める書類を委員会に提出しなければならない。	定める書類を委員会に提出しなければならない。
	う。)は、次の各号に掲げる区分により、それぞれ当該各号に	う。)は、次の各号に掲げる区分により、それぞれ当該各号に
	第二条 校長及び教員の採用を出願する者(以下「出願者」とい	第二条 校長及び教員の採用を出願する者(以下「出願者」とい
	ることを目的とする	ることを目的とする
	ユニリー・ハラとの三糸さり見り	_
	く。以下司じ。)のための手続きこ関し、必要な事項を定め	く。以下司じ。) のための手売きこ関し、必要な事項を定め
	法律第百六十二号)第四十条の規定により採用する場合を除	法律第百六十二号)第四十条の規定により採用する場合を除
	(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年	(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年
	の採用	論、養護教諭及び栄養教諭(以下「教員」という。)の採用
語を定義するもの	う。)の任命に係る校長及び教員	う。)の任命に係る校長並びに副校長、教頭、主幹教諭、教
	第一条 この規則は、宮城県教育委員会(以下「委員会」とい	第一条 この規則は、宮城県教育委員会(以下「委員会」とい
備考	現行	改 正 後

第四条・第五条 略	その職種による区分をせずに作成するものとする。成するものとする。ただし、校長及び副校長に係る名簿は、出願者の希望する学校の種類と職種に区分して作	改正後
第四条・第五条 略	成するものとする。  成するものとする。  成するものとする。	現行
	いて追記するもの取扱いの内容につ	備考

様式第一号	願書記載事項を変
様式第 1 号 職員番号	更するもの
官城県公立学校校長・副校長・教頭・主幹教論採用願書	
田屋区分 ※ 単 ・	
9	
生年月日 年月日生(才) 脱欄で3か月	
本 籍 掲 だもの	
現 住 所 (4.5cm×3.5cm)	
阳 宋 志	
大学     学部     年 月卒業       学 歴     大学院     年 月修了	
免許状の種類・教科又は領域 <u>有効期間の満丁の日</u> 又 は修 了確 認 期 限	
;	
彈	
第 名 科 且	
32/4	

注 1 学歴については <u></u> 最終のもののみとし <u></u> その学校の修業年限をかっこ書きすること。	上記のとおり相違ありません。 年 月 日	年月日	履歴 軸 現 所 属 ありがな 職・氏 名	### 2 ·· 樣式第二号	改 正 後
注 1 学歴については <u>最終のもののみとし</u> その学校の修業年限をかっこ書きすること。 すること。 2 資格(免幹)については <u>所持する免</u> 幹状の種類_番号等を記載すること。 3 職歴については <u>就職</u> _転任_休職_免職(休職_退職,免職については その理由)質罰を記載し_給与は現号像とその発令年月日のみとすること。	上記のとおり相違ありません。 年 月 日	# 月 日 瞬	履 歴 書	#H#2# 樣式第二号	現 行
				変更するもの履歴書記載事項を	備考

注意 1 区分欄には、へき地区勤務及び表彰、特別区勤務及び表彰、特別2 財問欄には、始期3 日を記載すること。 簡潔に記載すること。 簡潔に記載すること。		上記のとおり相違ありません。 年 月 日			国 给				様式第4号	様式第四号	
、 へき地数音 、特別 を、特殊技能報を ・ を、特殊技能報を明 ・ に と 動務先や表彰、し るいて。		りません。			期間			へき地・特別			改
区分欄には、へき地教育、特別支援教育、舎監、派遣社会教育主事、他管区勤務及び表彰、特殊技能等を記載すること。 区勤務及び表彰、特殊技能等を記載すること。ただし、表彰等については年月月を記載すること。 期間には、動務先や表彰、特殊技能の内容など特記すべき事項について簡潔に記載すること。	开 名				摘	<b>驟</b> ・	現 所 属	へき地・特別支援教育勤務等調書			正
飲養育士事★  他確 等につっては年月 火き事項につって					畑						後
注意 1 区分欄には、へき地教育、特別支援教育、含監、派遣社会教育主事、他管区勤務及び表彰、特殊技能等を記載すること。 2 期間欄には、始期、終期を明記すること。ただし、表彰等については年月日を記載すること。 3 摘要欄には、勤務先や表彰、特殊技能の内容など特記すべき事項について簡潔に記載すること。	来 名	上記のとおり相逢ありません。 年 月 日			区 分 基 理 遂 懶	かりが会		へき地・特別支援教育勤務等調書	模式第 4 号	様式第四号	現
									更するもの	調書記載事項を変	備考

様式第5号    株式第5号   年度   宮城県公立学校教員採用願書   日	一	20   10   10   10   10   10   10   10
語語大工工工		語 華 母
免許状の種類・数科又は領域	旦	<ul><li>免許状の種類・製料又は鋼域</li><li>取得(取得見込)年</li><li>年月</li></ul>
完 学		
研究科目 李潔師文の個目 所属した 高等学校 第・クラブ名 代の 他の 高等学校 社会活動等	大学等 大学等	研究の個目     母章な数科       所属した 部・クラブ名 第・クラブ名 インラブ名 ・大学等     大学等       大学等     大学等       社会活動等     大学等
取得資格等	希 盟 区 分	取得資格等       連絡 先       電話       東京会場受験希望の 有無       (注) 「採用願書」受付後、出願者に送付される「採用願書」の写し及び「出願者名祭門」を各自で印刷し、それぞれに写真を貼付の上、第1次試験当日に特参すること。

 様 式	小兔	(注)			渖			Æ						職					彌		#	1	凩	7	禁 共第 6 号	様	
様式第七号 略	その他の取得 免許・資格等	「履歴書記入上の注意」に従って記入すること。	上記のとおり相違ありません。 年 月 日 氏 名			#* さの	・・・ まつ			·・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まで	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	まで			**************************************	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	年月日 履歴事項 発令庁等	(A) 年 月 日		16号	樣式第六号	改正
様式第七号略	2 人力が終了したら各目で印刷し、4円円の上、第1尺医験当日で呼参すること。 その他の販得 免許・資格等	「履歴書記入上の注意」に従って記入すること。	上記のとおり相逢ありません。 年 月 日 氏 名 印	-		#750 H7.C			まで	まつから	サンク	サルウ (ウル)	が (	費 ・・・・ まな	まっ			屋から			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	月日漫雕	## ##	生 4	★対第6号 腰 歴	様式第六号	現 行
																									変更するもの	履歴書記載事項を	備考

【記入上の注意事項】 (1) 「年齢」欄は、再任用(1) 「年齢」欄は、再任用年齢を記入するごと。(2) 「遠職後の住所」欄に(2) 「再任用希望の校循」(3) 「再任用希望の校循」(4) 「希望劉務地」欄は、「市町村立小中学校」を行れてれ越地であるともそれぞれ避地であるともそれぞれ避地である。	その他特記事項	海 場立 学校	希 市町村立 野曜 小中学校	希望勤務形態	3	車 茶 年 券	所有資格等			免許状			再任用希望の校種	退職後の住所	現 住 所	具維	用 原 果 魚 魚 名	田井田	계 8	様式第八号	
#は、再任用職員と   #は、退職   で   一		□ 東部北地区 □ 北部南地区	<ul><li>□ 大河原教育事務所管内</li><li>□ 北部教育事務所管内</li><li>□ 気仙沼教育事務所管内</li></ul>		高等学校 年	小学校 年						免許状の種類・教	□ 市町村立小中学校 □ 県立学校	( <del> </del>	(〒 )			年月	黒	.5	改
退職後の住所が現住所と 退職後の住所が現住所と 人「市町村立小中学校( 選択すること。 町村立小中学校(義務製 の、典立学校希望者は「県 人生が選集人も、ことが第二人。		□ 東部南地区 □ 中部地区 □		2 (	月 中等教育学校 年	月 中学校 年						教科又は領域	爻(義務教育学校を含む。)			性別		日 退職(予定)年月	採用順書		正
に度の4月1日現 現なる場合のみ 異なる場合のみ 養務教育学校を含む。 育学校を含む。 つ学校1 棚の動 等を記入すること		光鹤光港区 南部港区	仙台教育事務所管內 東部教育事務所管內	常數(通38時間45分勤務)を希望する。 短時間勤務を希望する(希望がかなわない場合には常勤を希望する。)。 □ 週38時間15分勤務希望 □ 週15時間30分勤務希望 □ どちらでもよい。 □ はちらでもよい。 □ はちらでもよい。 □ 週3時間15分勤務希望 □ 週25時間5分勤務希望 □ 週15時間30分勤務希望 □ 週15時間30分勤務希望 □ 週15時間30分勤務希望 □ どちらでもよい。 常勤、短時間勤務のどちらでもよい。	: 月 特別支援学校	月 義務教育学校		年月			年月	fer	°)	電話番号	電話番号	□女 (年齢)	H F C C	年			後
在における 記入するこ む。) J X ) 希望者は が、				·ざ。)。 レポレ、)。	年 月	年月				· []						工 ) 田	3	月日			
【記入上の注意事項】 (1) 「年齢」欄は、再任用(1) 「年齢」欄は、再任用年齢を記入すること。 年齢を記入すること。 (2) 「退職後の住所」欄は と。 「再任用希望の技術」は「現立学校」のいずれたは「現立学校」がは「現立学校」がより、有な力が予し機大力でとしまれるともだれるともでもなった。	その他特記事項	海 県 中 文 学 校	新 市町村立 中学校	希望 勤務形態	13	華 垛 乐 券	所有資格等			免 羋 扶			再任用希望の校種	退職後の住所	現 住 所	軍聯	四 應 。 震 始	田年月	加	様式第八号	
職員とし、 (		□ 東部北地区 □ 北部南地区 □	<ul><li>□ 大河原教育事務所管內</li><li>□ 北部教育事務所管內</li><li>□ 気仙沼教育事務所管內</li></ul>	□ 常勤(週38時間45分勤務)を希望する(希望がかなわ) □ 短時間勤務を希望する(希望がかなわ) □ 週28時間15分勤務希望 □ どちらでもよい □ 短時間勤務を希望する(希望がかなわな □ 週28時間15分勤務希望 □ 週 どちらでもよい。	高等学校 年 月中	小学校 年 月中						免許状の種類・教科又に	□ 市町村立小中学校 (義 □ 県立学校	(〒 )	(∓ )			年月日	再任	7	現
て勤務を希望する年度の4月1日現在におけるこの住所が現住所と異なる場合のみ記入するこれが現住所と異なる場合のみ記入するこれが立か中学校(義務教育学校を含む。) 気にない中学校(義務教育学校を含む。) 希望者はたが 母素は「県立学校」欄の勤務地の中かと学校 名にとが発量は「東立学校」欄の勤務地の中か記述しい。)		東部南地区 口 北部北地区中部地区 口 南部地区	」 □ 仙台教育事務所管內 □ 東部教育事務所管內	「勝務)を希望する。)。 「そ (希望がかなわない場合には常動を希望する。)。 「そ (希望がかなわない場合には常動を希望  「 週15時間30分勤務希望  「 週15時間30分勤務希望  「 週15時間30分勤務希望  ○ 週15時間30分勤務希望  ○ 週15時間30分勤務希望	年 月	中学校 年 月						又は領域 有効期間の満	(義務教育学校を含む。)	an and	æâ.	性別口女	Ħ	退職(予定)年月日	來 用 願 書		行
4月1日現在における 5場合のみ記入するこ 7高学校を含む。) J 又 校を含む。) 希望者は 校」欄の勤務地の中か		区本区	Й Й	:は常勤を希望する。)。 分勤務希望 は再任用を希望しない。)。 分勤務希望	特別支援学校 年 月	義務教育学校 年 月		年 月 日 日	1 711	Ш	年 月 <u>日</u> 年 月 日	了の日又は修		電話番号	電話番号	(年零) ( 概)	1 1 1	年月日			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					ш	ш				i	·								更.	願	
																			史するもの	願書記載事項を変	備考